

# 第7次南知多町総合計画 施策評価書

基本目標 3 安心できるまちづくり

## 基本施策 3-2 つながりを活かした交通安全と防犯

### 1. 現状と課題

本町における交通事故発生件数は、半田警察署管内※で最も少なくなっています。しかし、公共交通が充実しておらず、主な移動手段が自動車であるため、高齢者による交通事故の割合が高くなっています。

防犯については、犯罪者が一番嫌がるのは地域の連帯と信頼感であり、近所づきあいが活発で地域コミュニティがしっかりとしているまちは、犯罪に強いとされています。本町では半田警察署管内で最も犯罪発生件数が少なくなっており、町民同士のつながりが残っていることがその一因と考えられる一方、犯罪の少なさゆえに、防犯意識が低くなっているという課題もあります。

※ 1市5町(半田市、阿久比町、東浦町、南知多町、美浜町、武豊町)

### 2. 目指すべき将来像

交通安全と防犯について、町民の意識の向上や地域ぐるみの活動の推進などを図り、引き続き交通事故と犯罪の少ない安全なまちを目指します。

### 3. 将来像の実現に向けて

- ・町、警察、その他関係団体が連携した、啓発活動を実施します。
- ・各種媒体を活用した、交通安全と防犯に関する広報活動に取り組みます。
- ・地域行事等の多くの方が連れ立って参加する機会を捉え、効果的な啓発を実施します。

### 4. 主な予算事業

事業名	部署名	事業概要	R2決算 (千円)	R3予算 (千円)	推進 方針※	実施 計画	事業 評価書
1 交通安全推進費	防災危機管理室	交通安全意識の高揚を目的に、交通安全の広報、啓発活動及び交通弱者の交通安全教育など、交通安全の推進活動を実施します	1,642	1,744	B		4-02-1
2 交通安全施設整備費	防災危機管理室	交通安全施設(防護柵、区画線、カーブミラー等)の新設工事を実施します	2,057	400	B	2-54	4-02-2
3 交通安全施設維持管理費	防災危機管理室	交通安全施設及び駐輪場の維持管理を実施します	1,911	1,854	B		4-02-3
4 交通指導員設置費	防災危機管理室	町民の交通安全意識の高揚と正しい交通安全ルールの習慣化を促進するため交通指導員を設置します	3,550	5,278	B		4-02-4
5 防犯対策費	防災危機管理室	犯罪防止のため、防犯運動の推進、防犯連絡責任者の委嘱、防犯灯の設置促進、安全なまちづくり及び暴力追放活動の推進に努めます	2,199	2,892	B		4-02-5
6 空家等対策事業費	まちづくり推進室	南知多町空家等対策計画に基づく空家等対策事業を実施します	4,737	4,814	C		4-05-4
7							
8							
9							
10							

※事業の推進方針は、前年度の事業評価書に基づいて記載しています。(A…拡充 B…継続 C…縮小 D…廃止)

## 5. 地域との協働に関する取組み状況

- ご近所同士の声掛けや会話など、ご近所づきあいを大切にする(個人)。
- 外出時の施錠、空き巣被害予防(家の周りに脚立等を置かない等)、放火・火災予防(家の周りに燃えやすいものを置かない等)など、防犯に気を付ける(個人)。
- 自動ブレーキ搭載の自動車に乗るなど、事故防止に努める(個人・事業者)。

## 6. 町民意識調査によるニーズ等

自由記述意見から実現の可能性が高い又は条件によっては実現可能な提案等に関する記述のみを抜粋

- ①近隣は空き巣が多いが、年配のご近所さんや同世代家族が大概いるので地域の目があって良い。さらに防犯を考えるならば、防犯カメラ普及に補助金を充ててもらえると犯罪発生時にどこかの防犯カメラには撮られているかも。
- ②南知多町を特区に指定又は独立し、高齢者の事故を無くす為にカーシェアリングを解禁すべきだと思います。防犯は各家に防犯カメラの設置を進めるとよい。
- ③老人の病院や買い物などの交通手段を町が保障すれば、免許書返上も進み、交通事故も減ると思う。
- ④安全登校のために、横断歩道に毎日、父兄や地域組織の役員さんが見守り誘導して下さい。毎日であり大変な負担である。篠島にも交通指導員の配置を希望します。
- ⑤町内の循環バス増やしてほしい。乗り合いやタクシーとか。
- ⑥犯罪発生件数が少ないならば、逆にそれをもっとアピールしては？安心安全なまち＝南知多のイメージを高めることで町民がそれを誇りに思えるようになれば、自然と意識も高まるのでは…たぶん。
- ⑦まずはあいさつ。
- ⑧施錠にたいする意識は低い地域だと思う。安全な町であるという意識が高い。
- ⑨空き家対策の重要性、防犯にも通じます。

## 7. 管理指標(pt) 町民意識調査による満足度

現状値(R2)	R3		R4		R5		R6		目標値(R6)
90	85	↘							95

## 8. 評価委員会の総合評価

評価	評価に係るコメント
R3	
R4	
R5	
R6	

## 第1期アクションプラン 実施計画書

				アクションプラン掲載		③	
事業名	交通安全施設整備費			予算科目	2款1項10目2事業		
概要	交通安全施設（防護柵、区画線、カーブミラー等）の新設工事を実施します						
担当課	防災危機管理室	重点政策	1・2・③	基本施策	3-2	3-4	
年度	令和3年度	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
予定事業費	400千円	4,600千円		4,600千円		4,600千円	
一般財源	400千円	2,600千円		2,600千円		2,600千円	
事業内容	交通安全施設整備事業	交通安全施設整備事業		交通安全施設整備事業		交通安全施設整備事業	
	交通安全施設（防護柵、区画線、カーブミラー等）の新設工事を実施します。	交通安全施設（防護柵、区画線、カーブミラー等）の新設工事を実施します。		同左		同左	
特記事項		国庫補助を活用して、通学路における交通安全対策工事を実施するため、予定事業費を増額する。		前年度と同程度の内容として、事業を継続する。		前年度と同程度の内容として、事業を継続する。	

令和2年度 事業評価書

事業概要

交通安全意識の高揚を目的に、交通安全の広報、啓発活動及び交通弱者の交通安全教育など、交通安全の推進活動を実施します

担当課 防災危機管理室  
防災安全係 内線222・223

予算科目

2 款 1 項 10 目 1 事業 交通安全推進費

予算額	1,972千円	財源内訳	国庫支出金	0千円	県支出金	0千円	町債	0千円	その他	0千円	一般財源	1,972千円
決算額	1,642千円	財源内訳	国庫支出金	0千円	県支出金	72千円	町債	0千円	その他	0千円	一般財源	1,570千円

計画 (PLAN)

主な事業	交通安全推進事業	運転免許証自主返納支援事業
事業内容	交通安全意識の高揚を目的に、交通安全啓発品の配布及び各種キャンペーンを開催します。	65歳以上の高齢ドライバーが免許証を自主返納した時にその後の支援品として、海づりバス及び知多バス（師崎線）の共通1日乗車券6,000円分を交付します。
基本施策① ※①	3-2 つながりを活かした交通安全と防犯	3-2 つながりを活かした交通安全と防犯
基本施策② ※①	3-6 多様性を認め、共に支え合うコミュニティ	3-5 暮らしを支える地域公共交通
基本施策③ ※①		
重点政策 ※②	1 2 ③	1 2 ③

実施 (DO)

主な事業	交通安全推進事業	運転免許証自主返納支援事業
予算額	1,612,000円	360,000円
決算額	1,437,566円	204,000円
財源（一般財源）	1,365,566円	204,000円
（その他）	72,000円	0円
執行率	89.2%	56.7%
事業実績	人身交通事故件数 27件 死亡事故件数 1件 交通安全推進協議会全体会 1回/年（書面） 交通安全教室 1回/年 交通安全キャンペーン 2回/年 交通安全テント基地 1回/年（縮小） シートベルト関所 3回/年（縮小）	申請件数 34件

評価 (CHECK)

事業指標	人身交通事故件数の削減	運転免許証自主返納支援事業の実施
目標値	死亡事故ゼロかつ人身交通事故件数32件（死亡0件・重傷4件・軽傷27件）	60件/年
実績値	人身交通事故件数27件（死亡1件・重傷0件・軽傷26件）	34件/年
達成度	未達成	未達成
担当課評価 ※③	人身交通事故件数は減少したため、啓発活動の効果はあったと考えるが、2年連続で死亡事故が発生しており、更なる対策が必要である。	実績値現減少の原因は、コロナ禍における外出自粛や、警察窓口の混雑等によるものと考え、半田警察署管内で、認知機能低下が原因と思われる死亡事故が発生しており、広報活動を強化し、返納の促進を図る必要がある。
基本施策有効評価（妥当性） ※④	低い 1 2 ③ 4 5 高い	低い 1 2 ③ 4 5 高い
費用対効果評価（効率性） ※④	低い 1 2 ③ 4 5 高い	低い 1 2 ③ 4 5 高い

改善 (ACTION)

課題	効果的な啓発活動が必要	効果的な広報が必要
改善・対応策	警察と連携し、効果的な啓発活動を実施する SNS等を利用した啓発を実施する	高齢者が参加する会合や集会に出向き、広報活動を実施する。
推進方針 ※⑤	B	B

※① 基本目標・基本施策…別紙 総合計画体系表参照  
 ※② 重点政策 ① 子育て支援と教育の充実 ② 産業の活性化と雇用の確保 ③ 定住支援  
 ※③ 事業に対する評価及び、前年度事業評価書ACTIONに対する評価  
 ※④ 評価（妥当性）…基本施策に対する有効性の高低（効率性）…事業の費用対効果の高低  
 ※⑤ 推進方針 A…拡充 B…現状維持 C…縮小 D…廃止検討

令和2年度 事業評価書

事業概要 交通安全施設（防護柵、区画線、カーブミラー等）の新設工事を実施します

担当課 防災危機管理室  
防災安全係 内線222・223

予算科目 2 款 1 項 10 目 2 事業 交通安全施設整備費

予算額	2,100千円	財源内訳	国庫支出金	0千円	県支出金	0千円	町債	0千円	その他	0千円	一般財源	2,100千円
決算額	2,057千円	財源内訳	国庫支出金	0千円	県支出金	0千円	町債	0千円	その他	0千円	一般財源	2,057千円

計画 (PLAN)

主な事業	交通安全施設整備事業	
事業内容	交通安全施設（防護柵、区画線、カーブミラー等）の新設工事を実施します。	
基本施策① ※①	3-2	つながりを活かした交通安全と防犯
基本施策② ※①	3-4	安心な暮らしを支えるインフラ
基本施策③ ※①		
重点政策 ※②	1	2 ③

実施 (DO)

主な事業	交通安全施設整備事業	
予算額	2,100,000円	
決算額	2,057,000円	
財源（一般財源）	2,057,000円	
（その他）	0円	
執行率	98.0%	
事業実績	区画線 2349.4m カーブミラー 4基	

評価 (CHECK)

事業指標	交通安全施設の新設工事完了	
目標値	令和3年3月31日まで	
実績値	令和3年3月31日まで	
達成度	達成	
担当課評価 ※③	交通上の危険個所に交通安全施設を新設することで、安全性の向上を図った。	
基本施策有効評価 (妥当性) ※④	低い 1 2 ③ 4 5 高い	低い 1 2 3 4 5 高い
費用対効果評価 (効率性) ※④	低い 1 2 ③ 4 5 高い	低い 1 2 3 4 5 高い

改善 (ACTION)

課題	交通安全施設の整備について、地元要望が多数あるため、全て対応することができない。	
改善・対応策	整備計画を作成し、優先順位に応じて、順次対応する。	
推進方針 ※⑤	B	

※① 基本目標・基本施策…別紙 総合計画体系表参照  
 ※② 重点政策 ① 子育て支援と教育の充実 ② 産業の活性化と雇用の確保 ③ 定住支援  
 ※③ 事業に対する評価及び、前年度事業評価書ACTIONIに対する評価  
 ※④ 評価(妥当性)…基本施策に対する有効性の高低 (効率性)…事業の費用対効果の高低  
 ※⑤ 推進方針 A…拡充 B…現状維持 C…縮小 D…廃止検討

令和2年度 事業評価書

事業概要

交通安全施設及び駐輪場の維持管理を実施します

担当課 防災危機管理室  
防災安全係 内線222・223

予算科目	2 款	1 項	10 目	3 事業	交通安全施設維持管理費									
予算額	2,061千円			財源内訳	国庫支出金	0千円	県支出金	0千円	町債	0千円	その他	0千円	一般財源	2,061千円
決算額	1,911千円			財源内訳	国庫支出金	0千円	県支出金	0千円	町債	0千円	その他	0千円	一般財源	1,911千円

計画 (PLAN)

主な事業	交通安全施設維持管理事業	駐輪場維持管理事業
事業内容	交通安全灯、カーブミラー等の維持修繕を実施します。	内海駅高架下に設置してある町営駐輪場の維持管理及び放置自転車撤去を実施します。
基本施策① ※①	3-2 つながりを活かした交通安全と防犯	3-2 つながりを活かした交通安全と防犯
基本施策② ※①	3-4 安心な暮らしを支えるインフラ	3-4 安心な暮らしを支えるインフラ
基本施策③ ※①		3-6 多様性を認め、共に支え合うコミュニティ
重点政策 ※②	1 2 ③	1 2 ③

実施 (DO)

主な事業	交通安全施設維持管理事業	駐輪場維持管理事業
予算額	1,948,000円	113,000円
決算額	1,814,466円	96,060円
財源 (一般財源)	1,814,466円	96,060円
(その他)	0円	0円
執行率	93.1%	85.0%
事業実績	修繕等 交通安全灯 1件 カーブミラー 12件	放置自転車等処分手数料 18,645円 駐輪場用地借地料 77,415円

評価 (CHECK)

事業指標	交通安全施設の現況把握	放置自転車の撤去作業
目標値	1回/年	1回/年
実績値	1回/年	1回/年
達成度	達成	達成
担当課評価 ※③	毎年施設を新設することで施設数が増加しており、また、過去に設置した施設の老朽化により、管理に係る労務と費用が増加している。	放置自転車の撤去台数が前年より減少しており、事業効果はあったと考える。
基本施策有効評価 (妥当性) ※④	低い 1 2 ③ 4 5 高い	低い 1 2 ③ 4 5 高い
費用対効果評価 (効率性) ※④	低い 1 ② 3 4 5 高い	低い 1 2 ③ 4 5 高い

改善 (ACTION)

課題	老朽施設の内、地域の交通情勢の変化により、使用頻度が低下したものや、必要性がなくなったものが存在する。	特になし
改善・対応策	老朽施設の内、地域の交通情勢の変化により、使用頻度が低下したものから、順次撤去する。	放置自転車の対策について、事業効果が出ているため、次年度も同様に実施する。
推進方針 ※⑤	B	B

※① 基本目標・基本施策…別紙 総合計画体系表参照  
 ※② 重点政策 ① 子育て支援と教育の充実 ② 産業の活性化と雇用の確保 ③ 定住支援  
 ※③ 事業に対する評価及び、前年度事業評価書ACTIONに対する評価  
 ※④ 評価 (妥当性) …基本施策に対する有効性の高低 (効率性) …事業の費用対効果の高低  
 ※⑤ 推進方針 A…拡充 B…現状維持 C…縮小 D…廃止検討

令和2年度 事業評価書

事業概要

町民の交通安全意識の高揚と正しい交通安全ルールの習慣化を促進するため交通指導員を設置します

担当課 防災危機管理室  
防災安全係 内線222・223

予算科目

2 款 1 項 10 目 4 事業 交通指導員設置費

予算額	5,078千円	財源内訳	国庫支出金	0千円	県支出金	1,000千円	町債	0千円	その他	0千円	一般財源	4,078千円
決算額	3,550千円	財源内訳	国庫支出金	0千円	県支出金	1,000千円	町債	0千円	その他	0千円	一般財源	2,550千円

計画 (PLAN)

主な事業	交通指導員設置事業		
事業内容	町民の交通安全意識の高揚と正しい交通安全ルールの習慣化を促進するため交通指導員を設置します。		
基本施策① ※①	3-2	つながりを活かした交通安全と防犯	
基本施策② ※①	3-6	多様性を認め、共に支え合うコミュニティ	
基本施策③ ※①			
重点政策 ※②	1	2	③

実施 (DO)

主な事業	交通指導員設置事業	
予算額	5,078,000円	
決算額	3,549,520円	
財源 (一般財源)	2,549,520円	
(その他)	1,000,000円	
執行率	69.9%	
事業実績	交通指導員 4名 (内、1名7月~3月、1名9月)	

評価 (CHECK)

事業指標	交通指導員設置数		
目標値	4名		
実績値	3名		
達成度	未達成		
担当課評価 ※③	前年から1人増員となったが、目標値である4名を配備するために、引き続き募集する。		
基本施策有効評価 (妥当性) ※④	低い 1 2 ③ 4 5 高い	低い 1 2 3 4 5 高い	
費用対効果評価 (効率性) ※④	低い 1 2 ③ 4 5 高い	低い 1 2 3 4 5 高い	

改善 (ACTION)

課題	人員が不足しており、増員の必要があるが、募集しても応募がない。	
改善・対応策	雇用条件の改善を検討し、応募を促す。	
推進方針 ※⑤	B	

※① 基本目標・基本施策…別紙 総合計画体系表参照  
 ※② 重点政策 ① 子育て支援と教育の充実 ② 産業の活性化と雇用の確保 ③ 定住支援  
 ※③ 事業に対する評価及び、前年度事業評価書ACTIONIに対する評価  
 ※④ 評価 (妥当性) …基本施策に対する有効性の高低 (効率性) …事業の費用対効果の高低  
 ※⑤ 推進方針 A…拡充 B…現状維持 C…縮小 D…廃止検討

令和2年度 事業評価書

事業概要

犯罪防止のため、防犯運動の推進、防犯連絡責任者の委嘱、防犯灯の設置促進、安全なまちづくり及び暴力追放活動の推進に努めます

担当課 防災危機管理室  
防災安全係 内線222・223

予算科目

2 款 1 項 13 目 1 事業 防犯対策費

予算額	2,452千円	財源内訳	国庫支出金	0千円	県支出金	0千円	町債	0千円	その他	0千円	一般財源	2,452千円
決算額	2,199千円	財源内訳	国庫支出金	0千円	県支出金	0千円	町債	0千円	その他	0千円	一般財源	2,199千円

計画 (PLAN)

主な事業	安全なまちづくり推進活動事業	防犯灯設置費補助事業
事業内容	安全なまちづくりを推進するための事業を実施します。 ・安全なまちづくり推進協議会 ・安全なまちづくりキャンペーン ・防犯カメラ設置 ・防犯カメラ設置費補助事業 ・暴力団追放活動	防犯灯設置促進を目的に区で設置する防犯灯の整備費に対して補助を行います。
基本施策① ※①	3-2 つながりを活かした交通安全と防犯	3-2 つながりを活かした交通安全と防犯
基本施策② ※①	3-6 多様性を認め、共に支え合うコミュニティ	3-4 安心な暮らしを支えるインフラ
基本施策③ ※①		3-6 多様性を認め、共に支え合うコミュニティ
重点政策 ※②	1 2 ③	1 2 ③

実施 (DO)

主な事業	安全なまちづくり推進活動事業	防犯灯設置費補助事業
予算額	1,352,000円	1,100,000円
決算額	1,104,836円	1,093,512円
財源 (一般財源)	1,104,836円	1,093,512円
(その他)	0円	0円
執行率	81.7%	99.4%
事業実績	安全なまちづくり推進協議会 1回/年 (書面) 安全なまちづくりキャンペーン 2回/年 防犯カメラ設置累計 12台 (2台増設) 防犯カメラ設置費補助金交付件数 1件 暴力団追放パレード 中止	新設 29基 LEDへの付替え 43基

評価 (CHECK)

事業指標	犯罪発生件数の削減	防犯灯設置への補助を実施する
目標値	刑法犯認知件数66件	新設30基・LEDへの付替え40基
実績値	刑法犯認知件数70件	新設29基・LEDへの付替え43基
達成度	未達成	未達成
担当課評価 ※③	警報犯罪認知数が増加しており、各種事業の継続や改善が必要と考える。防犯カメラを2台増設し、防犯対策の強化を図った。	概ね目標値を達成でき、町内の防犯対策の強化を図れた。
基本施策有効評価 (妥当性) ※④	低い 1 2 ③ 4 5 高い	低い 1 2 ③ 4 5 高い
費用対効果評価 (効率性) ※④	低い 1 2 ③ 4 5 高い	低い 1 2 ③ 4 5 高い

改善 (ACTION)

課題	効果的な啓発が必要。	地元からの要望が急激に増加した。
改善・対応策	警察や地元団体と協力し、効果的な啓発方法を検討する。	各区に、補助金の適正かつ効果的な活用について理解してもらうよう周知する。
推進方針 ※⑤	B	B

※① 基本目標・基本施策…別紙 総合計画体系表参照  
 ※② 重点政策 ① 子育て支援と教育の充実 ② 産業の活性化と雇用の確保 ③ 定住支援  
 ※③ 事業に対する評価及び、前年度事業評価書ACTIONIに対する評価  
 ※④ 評価 (妥当性) …基本施策に対する有効性の高低 (効率性) …事業の費用対効果の高低  
 ※⑤ 推進方針 A…拡充 B…現状維持 C…縮小 D…廃止検討



令和2年度 事業評価書

事業概要

南知多町空家等対策計画に基づく空家等対策事業を実施します

担当課 まちづくり推進室  
空き家対策係 内線324・325

予算科目

2 款 1 項 13 目 2 事業 空家等対策事業費

予算額	9,005千円	財源内訳	国庫支出金	4,000千円	県支出金	2,000千円	町債	0千円	その他	0千円	一般財源	3,005千円
決算額	4,737千円	財源内訳	国庫支出金	1,916千円	県支出金	958千円	町債	0千円	その他	0千円	一般財源	1,863千円

計画 (PLAN)

主な事業	特定空家等対策支援事業	特定空家等候補調査業務
事業内容	特定空家等の内、そのまま放置すれば倒壊等著しく保安上危険となる恐れがある状態にあるもので、危険度及び緊急度が高いものは、除却費用の一部を支援します。 <補助金の額> 補助対象経費の5分の4かつ上限80万円(国費1/2、県費1/4、町費1/4)	町民から情報提供のあった管理不全な状態にある空家等について、特定空家等候補として調査を行い、南知多町空家等対策協議会において特定空家等の判断をする際の基礎資料を作成します。 ①再調査物件(離島5件) ②新規物件(半島側14件、離島7件)
基本施策① ※①	3-3 資源を活かす土地利用	3-3 資源を活かす土地利用
基本施策② ※①	3-2 つながりを活かした交通安全と防犯	3-2 つながりを活かした交通安全と防犯
基本施策③ ※①	3-1 まちと命を守る防災	3-1 まちと命を守る防災
重点政策 ※②	1 2 ③	1 2 ③

実施 (DO)

主な事業	特定空家等対策支援事業	特定空家等候補調査業務
予算額	8,000,000円	766,000円
決算額	3,833,000円	765,600円
財源(一般財源)	959,000円	765,600円
(その他)	2,874,000円	0円
執行率	47.9%	99.9%
事業実績	交付件数 5件	再調査物件 5件(半島側1件、離島側4件) 新規物件 17件(半島側13件、離島側4件)

評価 (CHECK)

事業指標	特定空家等の除却の補助	特定空家等候補調査業務の実施
目標値	10件/年	26戸/年
実績値	5件/年	22件/年
達成度	未達成	未達成
担当課評価 ※③	補助対象を拡充したが、コロナ禍による経済的影響を理由に、申請件数が伸びていないため、目標値を下方修正する必要がある。	大型物件の調査を実施したことにより予算は執行したが、前年度に比べ管理不全な状態にある空家等の情報提供が減少しており、目標値を下方修正する必要がある。
基本施策有効評価(妥当性) ※④	低い 1 2 3 4 ⑤ 高い	低い 1 2 3 4 ⑤ 高い
費用対効果評価(効率性) ※④	低い 1 2 ③ 4 5 高い	低い 1 2 ③ 4 5 高い

改善 (ACTION)

課題	特定空家等の所有者等の負担を軽減させる施策が必要である。	現状では空家等の情報提供が減少傾向ではあるものの、今後も空き家が増加することが予測されており、継続して事業を実施するため、財源を確保することが課題である。
改善・対応策	特定空家等の所有者等に対する補助金以外の負担軽減策の実施を検討する。	国庫補助等の活用が可能になるよう、事業内容の変更について検討する。
推進方針 ※⑤	C	C

※① 基本目標・基本施策…別紙 総合計画体系表参照  
 ※② 重点政策 ① 子育て支援と教育の充実 ② 産業の活性化と雇用の確保 ③ 定住支援  
 ※③ 事業に対する評価及び、前年度事業評価書ACTIONに対する評価  
 ※④ 評価(妥当性)…基本施策に対する有効性の高低 (効率性)…事業の費用対効果の高低  
 ※⑤ 推進方針 A…拡充 B…現状維持 C…縮小 D…廃止検討